

ディボーション質問表

30日(日)先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

31日(月)列王記第一 20章

20章は、北のイスラエル王国とアラム王国との争いの記述です。

1. 戦いの主要となる働きはだれでしょう(14~20節)
神様は、若い人たちを用いることを知っているだろうか?
2. イスラエル王は、神様の命令にどう対応しましたか(35)? またそのことについての預言はどのようなものでしたか(42)? その預言に対して王はどう反応しましたか(43)?
快く悔い改める覚悟と純粋さを保っているだろうか?

1日(火)列王記第一 21章

1. ナボテはここでアハブ王の好条件を退け、自分の土地を手放しませんでした。このことからナボテが普段、どういう価値観で生活していたかを想像してください。わたしたちの今の考え方と似ている点と異なる点をあげてみましょう。
2. イゼベルは王のプライドに訴えて(7節)、ナボテを陥れ、死なせます。このことから男女それぞれの犯しやすい罪の性質が発見できます。それは何でしょうか。
3. エリヤの警告を受けてアハブは悔い改め、へりくだりました。それによって神は考えを変えました。このことから神のご性質をもう一度思い出してみましょう。

2日(水)列王記第一 22:1~28

1. この箇所には信仰を持つ者とそうでない者の対比、預言者とにせ預言者の対比が出てきます。ヨシャパテとアハブ、ミカヤとゼデキヤのそれぞれの違いを自分の言葉で言い表してみましょう。
2. ミカヤの預言によれば、霊の世界には地上の人間を惑わす者が存在します。この惑わす霊をあなたは天使だと考えますか、それとも悪魔やその仲間と考えますか。この惑わす霊に対抗する手段はあると思いますか。またその手段は何でしょうか?

3日(木)列王記第一 22:29~53

1. アハブの死からあなたは何を感じましたか、またこのような父の死にも関わらず、なぜアハズヤは悪を行った(52節)と思いますか。
2. 49節でヨシャパテは金調達船をオフィルへ送る際に、一緒に家来を行かせようとしたアハズヤの提案をしりぞけました。なぜだと思いますか。

4日(金)列王記第二 1章

この書の時代の最後半でアッシリヤとバビロンに捕囚された人々にもこの書は伝わり、彼らが自分達の歴史を知る重要な情報源となりました。神の力と摂理を表す事件が多く描かれ、エリヤの後継者として登場してくるエリシャの活躍は私たちの信仰を鼓舞してくれます。

1. アハズヤは急病により死の床についていた時にバアル・ゼブブという偶像に解決を求めました。しかし、それをさえぎったのはエリヤでした。それを知ったときの王の気持ちを想像してください。彼はなぜ三度も部隊を送ったのでしょうか。
2. 三人目の部隊が助かったのはなぜだと思いますか。このことから私たちが注意しなくてはならない事は何でしょうか。

5日(土)列王記第二 2:1~10

1. エリヤとエリシャのやり取りがここにできます。エリヤとエリシャの性格の違いは何だと思いますか。また神はエリシャのこのような性格をどう用いると思いますか。
2. エリヤに対してエリシャの求めた要求をあなたはどう思いますか。あなたがエリシャの立場だったらどうしていたでしょうか。